



ウーパールーパーは、何の仲間なの

イモリに近い仲間

1985年ごろにブームになった、きみょうな生き物ウーパールーパー。この名前は、ニックネームです。トラフサンショウウオ科メキシコサラマンダー、あるいはアホロートルともよばれるのが、正式の名前です。この生き物の特徴である、頭のまわりに、によきによきつき出たのは「えら」です。近い仲間の、サンショウウオやイモリなども、卵からかえってすぐの幼生とよばれるころは、えらが外に出ていますが、変態して成長するにつれ、えらは退化していきます。ところが、変態しないで、幼生の形のまま親になってしまう仲間もいて、これをアホロートルといいます。

メキシコ南部の高地、ホチミルコ湖とその周辺にすみ、体長が最大で30センチメートルぐらいになります。ふつうは、ぶちもようの入った、黒い体の色をした生き物ですが、日本で人気が出たのは、体に色がついていない白子（アルビノ）です。

飼うのはかんたん

熱帯魚店で、ウーパールーパーと、水そう、エアポンプを買ってきます。カルキぬきした水道水（ハイポなどの薬品を入れる）を、10センチメートルぐらいの高さまで入れて、水温は0～20℃にたもちます。えさは、冷とうのイトミミズ、アカムシなどです。

（監修・杉浦 宏）



前から見たとき



横から見たウーパールーパー

